

病院指標(令和3年度)

入江病院

集計項目

- 1) 年齢階級別退院患者数
- 2) 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)
- 3) 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数
- 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- 5) 脳梗塞の患者数等
- 6) 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)
- 7) その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

DPCデータによる病院指標(令和3年度)

集計項目

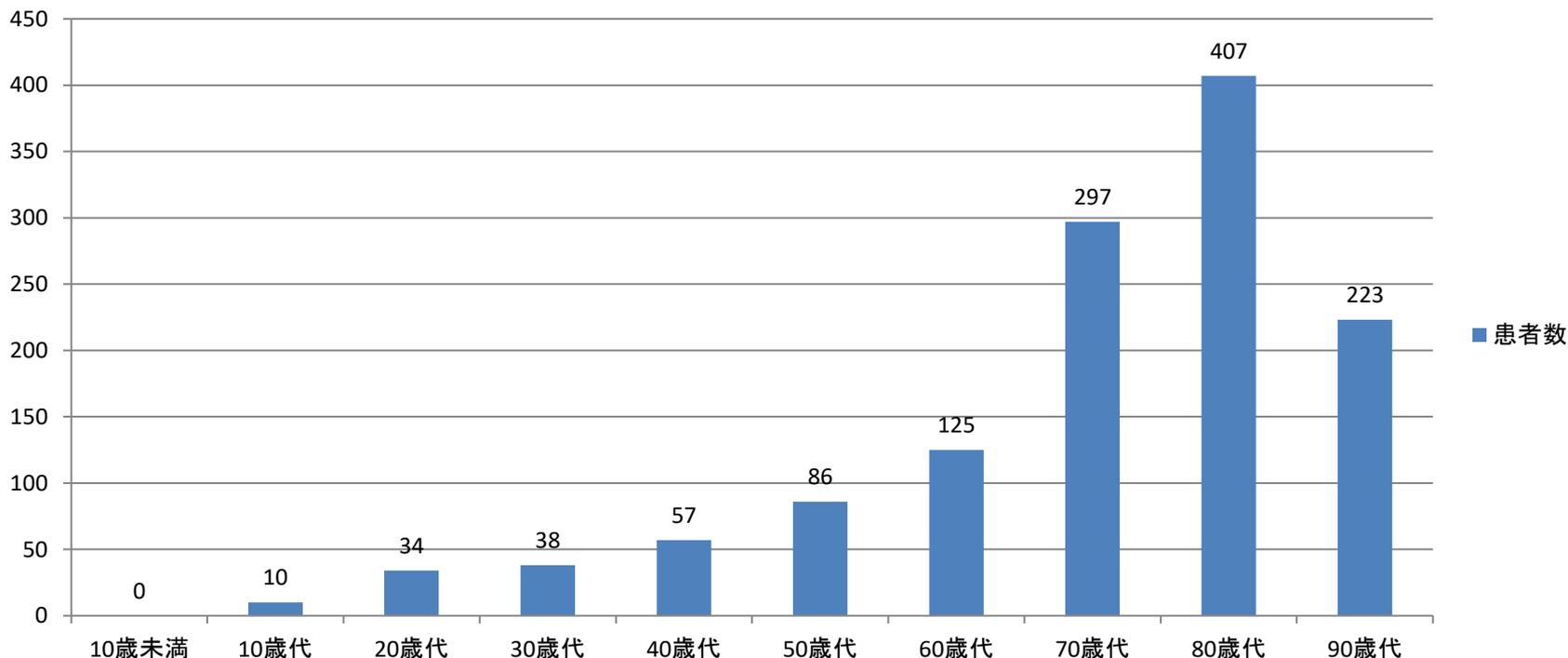
- 1) 年齢階級別退院患者数
- 2) 診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)
- 3) 初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数
- 4) 成人市中肺炎の重症度別患者数等
- 5) 脳梗塞の患者数等
- 6) 診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)
- 7) その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

(全体の集計方法と定義)

- ・令和元年度(令和3年4月1日～令和4年3月31日)に退院された患者さんが対象です。
- ・医療保険を使用された患者さんのみ対象とし、自動車賠償責任保険や労災保険、自費等は含めません。
- ・回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟のみに入院し、一般病棟を一度も入院歴がなかった患者さんは対象にしません。
- ・退院日から同一疾患での7日以内の再入院の場合は、一症例として数えています。
- ・一般病棟からその他病棟(回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟)へ転棟した症例は、入院日から退院日までを一症例として数えています。
- ・年齢は、入院日時点の年齢を基準としています。
- ・集計において患者数が10未満の場合は、「患者数」にはハイフンを表記し、「平均在院日数(全国)」以外の項目にも同様にハイフンを表記しています。
- ・この指標は、病院指標の作成と公開(厚生労働省保険医療課: 令和4年9月7日参考資料)に準じて作成しています。

①年齢階級別退院患者数

患者数



定義

集計期間に退院した患者さんの年齢階級別(10歳刻み)患者数です。

(ただし、入院から退院まで回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟のみに入院していた患者さんは除きます。)

年齢は、入院日時点の年齢としています。

解説

幅広い年齢層の患者さんが退院しておられますが、最も多い年齢層は、80歳代の80歳～89歳となっており、70歳以上の占める割合が73%と地域社会の高齢化を反映しています。

②診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

※ 厚生労働省 令和3年度全国平均在院日数 令和4年9月7日時点分を掲載しております。

消化器内科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	060340xx03x00x	胆管(肝内外)結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	25	12.12	9.12	0.00	75.12
2	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	17	35.12	13.14	5.88	82.94
3	060380xxxxx00x	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	16	5.31	5.53	0.00	55.75
4	180010x0xxx0xx	敗血症(1歳以上) 手術・処置等2なし	16	19.22	12.50	14.29	78.44
5	060350xx99x00x	急性膵炎 手術なし 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	15	16.33	10.64	6.67	67.20

解説

当院を退院した患者さんを診療科別に疾患や治療内容(DPC分類)で集計したものです。

消化器内科で主に治療した疾患上位5つを示します。どのような疾患や治療を主に行っているかがわかります。主に、消化器症例を全般とし、特に内視鏡治療を中心として診ています。

消化器外科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	14	8.57	4.74	0.00	71.71
2	060380xxxxx00x	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	13	5.23	5.53	7.69	47.77
3	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	10	41.40	13.14	0.00	85.80
4	060210xx99000x	ヘルニアの記載のない腸閉塞手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 副傷病なし	—	13.89	9.00	0.00	66.33
5	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	—	42.86	20.57	0.00	83.29

解説

当院を退院した患者さんを診療科別に疾患や治療内容(DPC分類)で集計したものです。

消化器外科で主に治療した疾患上位5つを示します。どのような疾患や治療を主に行っているかがわかります。外科的手術を行っています。次いで、急性腹症に対する治療を行っています。

整形外科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	160690xx99xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰 髓損傷を含む。)手術なし	41	57.27	19.34	4.88	83.98
2	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨 頭挿入術 肩、股等	40	64.95	25.32	10.00	85.93
3	160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処置等 2なし	12	49.50	19.02	8.33	85.50
4	160800xx99xxxx	股関節・大腿近位の骨折 手術な し	—	30.75	15.02	37.50	82.13
5	160850xx01xxxx	足関節・足部の骨折・脱臼 骨折 観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手 (舟状骨を除く。)、足、指(手、 足)その他等	—	60.63	18.36	0.00	73.75

解説

当院を退院した患者さんを診療科別に疾患や治療内容(DPC分類)で集計したものです。

整形外科で主に治療した疾患上位5つを示します。どのような疾患や治療を主に行っているかがわかります。
主に、胸椎・腰椎の圧迫骨折が最も多く、次いで大腿骨骨折に対する手術症例に対する治療となっています。

脳神経外科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	010060x2990401	脳梗塞(脳卒中発症3日目以内)、 かつ、JCS10未満)手術なし 手術・ 処置等1なし 手術・処置等24あり 副傷病なし 発症前Rankin Scale 0,1又は2	21	59.24	15.63	4.76	77.00
2	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・ 処置等2なし 定義副傷病なし	—	23.67	8.30	11.11	86.44
3	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手 術あり 手術・処置等2なし 定義 副傷病なし	—	8.50	9.78	0.00	76.83
4	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬 膜下血腫以外)(JCS10未満) 手術 なし 手術・処置等1なし 手術・処置 等2なし 定義副傷病なし	—	82.60	18.90	0.00	75.00
5	010050xx02x00x	非外傷性硬膜下血腫 慢性硬膜下 血腫穿孔洗浄術等 手術・処置等2 なし 定義副傷病なし	—	32.40	11.78	0.00	85.80

解説

当院を退院した患者さんを診療科別に疾患や治療内容(DPC分類)で集計したものです。

脳神経外科で主に治療した疾患上位5つを示します。どのような疾患や治療を主に行っているかがわかります。

主に、脳血管障害(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)に対する治療を行っています。

次いで、頭部外傷に対する治療も行っています。

総合内科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率 (%)	平均年齢
1	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	30	23.27	13.14	3.33	82.00
2	180010x0xxx0xx	敗血症(1歳以上) 手術・処置等2なし	30	30.30	19.22	3.33	76.30
3	040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	28	34.32	20.57	10.71	87.46
4	050130xx9900xx	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	10	21.20	17.35	0.00	90.10
5	060380xxxxx00x	ウイルス性腸炎 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	—	3.00	5.53	0.00	39.56

解説

当院を退院した患者さんを診療科別に疾患や治療内容(DPC分類)で集計したものです。

総合内科で主に治療した疾患上位5つを示します。どのような疾患や治療を主に行っているかがわかります。

救急病院のため、救急搬送による緊急入院が多い傾向にあります。

主に、腎盂腎炎・敗血症、次いで肺炎・心不全等の治療を行っています。

③初発の5大癌のUICC病期分類別ならびに再発患者数

5大癌	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	再発	病期分類基準	版数
胃癌	3	—	1	—	—	—	1	7
大腸癌	—	1	—	—	—	3	1	7
乳癌	—	—	—	—	—	1	1	7
肺癌	—	—	—	—	2	2	1	7
肝癌	—	—	—	—	—	5	1	7

定義

- ①病期分類基準は、UICC病期分類(国際対がん連合 TNM悪性腫瘍の分類 第7版)に基づいたものです。
- ②集計期間中に退院した患者さんが対象で、実患者数を集計しています。
- ③集計期間中に初発として集計されたものは、再発には集計しません。
- ④病期分類が確定される前に亡くなられた場合等は、病期分類は不明となります。
- ⑤傷病名が疑い病名だったものは集計対象から除外しています。

解説

日本で最も罹患率の高い5つのがんの病期分類(ステージ)と再発の症例数を集計したものです。初発のステージは、Stage I からIVへ大きくなるにつれ、がんの進行を示しています。当院での5大癌の中で多いのが肝癌、次いで胃癌・大腸癌となっています。

④成人市中肺炎の重症度別患者数等

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	—	—	—
中等症	55	31.75	79.60
重症	15	36.40	85.27
超重症	—	—	—
不明	—	—	—

定義

- ①集計期間中に退院した20歳以上の患者さんを対象にしています。
- ②市中肺炎とは、普段の生活の中で罹患した肺炎を指します。
- ③入院契機病名および最も医療資源を投入した傷病名が、「肺炎・急性気管支炎(DPCコード040080)」さらにその中で、ICD-10コードがJ13～J18であるものが対象です。
- ④重症度は、市中肺炎ガイドラインによる重症度分類システム(A-DROP)により分類しています。
 - 1.男性70歳以上、女性75歳以上
 - 2.BUN21mg/dL以上または脱水あり
 - 3.酸素飽和度 \leq 90%
 - 4.意識障害
 - 5.収縮期血圧90mmHg以下

解説

当院では中等症の症例が最も多くなっており、全体の7割を占めています。
中等症以上の平均年齢は80歳代となっており、高齢者が重症となる傾向があるといえます。

⑤脳梗塞の患者数等

ICD10	医療資源病名	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率 (%)
I63 \$	脳梗塞	3日以内	51	60.80	78.75	9.26
		その他	—	30.33	84.00	0.00

定義

医療資源を最も投入した傷病が脳梗塞に関するICD-10で I63\$に該当する患者さんの集計です。

ICD-10とは、WHO(世界保健機関)が死亡や疾病のデータの体系的な分析・解釈および比較を行うために採択した国際基準の疾病分類第10版のことです。

解説

当院では、発症から3日以内に治療を開始しています。迅速に治療を開始することで早期離床に繋がり、早期にリハビリテーションを開始することができます。

その後のリハビリテーションへスムーズに移行することにより発症後のADL(日常生活動作)障害が軽減されます。

また、当院では、急性期医療だけでなく、在宅支援に向けての、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟を有しており、総合的な治療管理を行っています。

⑥ 診療科別主要手術別患者数等 (診療科別患者数上位5位まで)

消化器内科

No.	K-コード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
1	K6851	内視鏡的胆道結石除去術 胆道碎石術を伴うもの	19	1.11	15.05	0.00	78.21
2	K654	内視鏡的消化管止血術	13	1.31	16.00	0.00	75.77
3	K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)	10	48.30	10.75	10.00	82.30
4	K6852	内視鏡的胆道結石除去術 その他のもの	—	1.88	10.75	0.00	68.88
5	K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	—	0.14	1.00	0.00	63.57

定義

集計において患者数が10未満の場合は、「患者数」にはハイフンを表記しています。

消化器内科では

内視鏡的治療が中心となっています。大腸ポリープに対しては、内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術を行っています。また、吐血や下血などの消化管出血に対して、緊急内視鏡を施行し、クリップや薬剤を用いて止血を行っています。

消化器外科

No.	K-コード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
1	K6335	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	13	1.62	6.23	0.00	73.31
2	K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	12	0.92	4.58	0.00	56.00
3	K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	—	0.80	3.20	0.00	31.60
4	K647-2	腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	—	0.50	12.50	0.00	61.50
5	K655-22	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	—	4.50	11.50	0.00	78.50

定義

集計において患者数が10未満の場合は、「患者数」にはハイフンを表記しています。

消化器外科では

ヘルニアによる鼠径ヘルニア手術。次いで胆のう結石症による腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術症例が多くなっています。

整形外科

No.	Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
1	K0461	骨折観血的手術(肩甲骨, 上腕, 大腿)	50	3.24	61.64	4.00	85.54
2	K0462	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	13	3.62	42.54	0.00	74.15
3	K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	13	3.85	57.15	15.38	84.08
4	K0463	骨折観血的手術(鎖骨, 膝蓋骨, 手(舟状骨を除く), 足, 指(手, 足)その他)	—	5.00	37.17	0.00	65.33
5	K0483	骨内異物(挿入物を含む)除去術 前腕、下腿	—	1.00	8.50	0.00	70.00

定義

集計において患者数が10未満の場合は、「患者数」にはハイフンを表記しています。

整形外科では

高齢者に多い大腿近位部骨折に対する骨折観血的手術(大腿)や人工骨頭挿入術(股)を行っています。
また、橈骨遠位端骨折、下腿部骨折に対する骨折観血的手術(前腕・下腿)も行っています。

脳神経外科

No.	K-コード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率(%)	平均年齢
1	K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	—	1.00	42.43	0.00	83.86
2	K1643	頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの) 脳内のもの	—	1.00	0.00	0.00	72.00

定義

集計において患者数が10未満の場合は、「患者数」にはハイフンを表記しています。

脳神経外科では

最も多い手術は、慢性硬膜下血腫に対する穿孔洗浄術です。

慢性硬膜下血腫は、頭部外傷を負って1～2ヶ月後に症状が起こる病気で多くが手術が必要となります。

⑦その他（DIC、敗血症、その他の真菌症 および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	医療資源病名	入院契機	症例数	発生率(%)
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	—	0.00
		異なる	—	0.00
180010	敗血症（一歳以上）	同一	50	3.92
		異なる	10	0.78
180035	その他の真菌症	同一	—	0.00
		異なる	—	0.00
180040	手術・術後等の合併症	同一	—	0.39
		異なる	—	0.00

定義

この指標は、医療の質の改善に資するため、臨床ゼロにはなりえないものの少しでも改善すべきものとして、播種性血管内凝固症候群、敗血症、その他の真菌症、手術・術後等の合併症について、入院契機病名（入院のきっかけとなった傷病）の同一性の有無を区別して対象患者数との発症率を示したものです。